

DOWAS NEWS

2019

Vol.22 No.2



「2018年度台湾深層海水資源利用学会年会報告」

黄 秉益

台湾深層海水資源利用学会事務局長 … 1

第9回沖縄ハワイ海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ

開催中止報告(9月28日、29日)

久米島町役場プロジェクト推進課 大田 直樹 … 4



海洋深層水利用学会

2018 年度台湾深層海水資源利用学会年会報告

黄 秉益

台湾深層海水資源利用学会事務局長

去る 12 月 6 日と 7 日に、台湾で台湾深層海水資源利用学会の第 4 回年会が開催されましたので概要をお知らせします。6 日（木）午前中に、台北市内の台湾大学集思會議センターで深層海水国際シンポジウムが公開で行われました。これには、台湾から劉金源台湾深層海水資源利用学会長はじめ約 90 名、日本から高橋正征海洋深層水利用学会長と大塚耕司日台韓交流委員長、韓国から魚再善韓国海洋深層水利用学会長と金庸恒学会事務局長ほか 12 名で、全体で約 100 名の参加がありました。去る 10 月 18 日に、韓国で日台韓の海洋深層水関連 3 学会が情報と人的交流協定を締結後の最初の活動になります。

劉金源会長の開会挨拶と引き続いて来賓各位の歓迎あいさつの後、劉会長から高橋正征氏に台湾深層海水利用学会への長年の功労を感謝してトロフィーが授与されました。

国際シンポジウムでは、まず台湾の中山医学大学の王進崑教授が「保健食品の現状と傾向」と題して台湾、日本、中国の保健飲食品と健康影響に関して現状と課題を整理して発表。次いで、大塚耕司教授は「海洋深層水の必要性と資源供給の限界」で、特に増え続ける世界の人口を考えると淡水と動物たんぱく質の確保が大きな課題となることを指摘し、それには海洋深層水の資源利用が意味をもつことを紹介されました。魚再善教授の「韓国の海洋深層水資源の産業利用状況」では、韓国のこれまでの海洋深層水の各種の利用の現状の詳しい説明がありました。

以上 3 件の基調講演を受け、劉会長の司会進行で、あらかじめ提出されていた会場からの質問について、関係する講演者が回答するというスタイルで活発な総合討論が 20 分ほど行われました。

基調講演と総合討論のあと、学会の年会の会場となる台東に電車で移動しました。日本と韓国からの参加者は、途中の花蓮で下車して台湾肥料の海洋深層水取水施設と利活用の現状を見学しました。韓国からの参加者は、そのまま花蓮に泊まり、翌日午前中に光隆生化科技股份有限公司の海洋深層水施設を見学し、その後、電車で台東に移動しました。

7 日（金）は、台東市内にある国立史前文化博物館の講堂で、台湾深層海水利用学会の研究発表が行われました。午前中は、国防医学院の呂珮瑤博士による「深層海水による脂肪生成の抑制効果」、台東大学の李中佑氏と李俊霖教授による「深層海水による保健原料の開発とそれによる脂肪肝予防の研究」、国立水産試験所東部海洋生物研究センターの黄侑勸氏と何源興氏による「深層海水の水産養殖への適用」。11 時から学会総会と理事・監事の投票結果の集計が行われました。（後日に行われた理事会で現職の台湾海洋大学副学長の許泰文教授が次期理事長として選出されました。）続いて午後は、黄秉益博士が石材資源研究センターの深層海水資源の研究と技術開発の現状を紹介し、その後、呉輔庭氏が深層海水からのミネラル抽出工程とその利用、黄信綸氏が深層海水からの有機・無機の様々な原料

とその生産並びに利用のための検討を、そして許紘瑜氏が深層海水による健康促進利用をタラソテラピーに結びつけて紹介されました。

その後、深層海水センターに移動して、深層海水の脱塩・ミネラル抽出装置、冬虫夏草の事業培養施設などの見学と、タラソテラピー施設での体験入浴をしました。



図1 台北会場来賓による記念写真



図2 高橋正征会長が劉金源会長からトロフィーを授与された



図3 台東会場来賓による記念写真



図4 参加者が深層海水センターでタラソセラピーを体験

第9回沖縄ハワイ海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ
開催中止報告（9月28日、29日）

久米島町役場プロジェクト推進課 大田 直樹

2010年から毎年開催されている「沖縄ハワイ海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ」は、昨年度、第9回を迎える予定でしたが、台風24号の影響により中止となりました。

このワークショップは2010年7月にクリーンエネルギーの導入拡大を目指して締結された「沖縄ハワイクリーンエネルギー協力協定」（経済産業省、米国エネルギー省、ハワイ州、沖縄県）の下、沖縄県及びハワイ州においてポテンシャルの高い海洋エネルギーと、これに関連した経済開発、エネルギー教育、環境、深層水利用産業等を主要テーマとして、最新の動向報告や意見交換を行うもので、沖縄県久米島町とハワイ州ハワイ郡コナで毎年交互に開催されています。また、この取り組みがご縁となって、久米島町とハワイ郡は2011年9月に姉妹島提携を結んでおります。

今回は台風24号の影響でシンポジウム開催は中止となりましたが、国内外から来島された参加者のために見学ツアーを催行し、沖縄県海洋深層水研究所、海洋温度差発電実証施設、海ぶどう養殖施設、化粧品工場やカキ養殖施設などを見学していただきました。（図1、2）

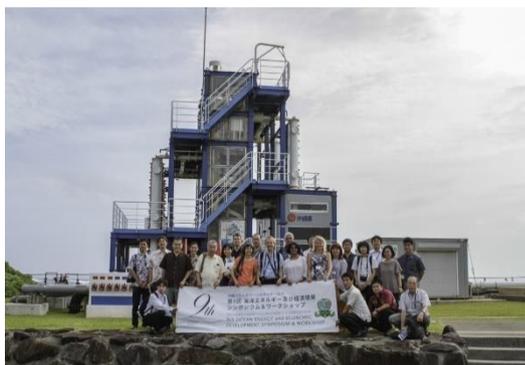


図1 見学ツアー集合写真



図2 海ぶどう養殖施設見学の様子

台風の日に入った際には、宿泊ホテルロビーにて、今回行われる予定だった海洋温度差発電、海洋深層水産業利用、環境、エネルギー教育などについてのミニワークショップを開催し、今後の更なる展開に向けた議論が行われました。(図3)

また、国立天文台ハワイ観測所の嘉数悠子博士が久米島町立大岳小学校で「沖縄とハワイから探る宇宙」と題し講演を行い、生徒との交流を深めました。(図4)

2019年度は11月8日、9日にハワイ州ハワイ郡コナで第10回沖縄ハワイ海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップの開催を予定していますので、多くの皆様のご参加宜しくお願ひします。



図3 ミニワークショップの様子



図4 大岳小学校講演集合写真